

事務事業名		岩手沿岸南部広域環境組合事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																				
政策体系	政策名	0 6 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間																					
	施策名	2 1 廃棄物処理対策の推進		区分																					
	基本事業名	0 1 ごみの減量化とリサイクルの推進		単年度繰返																					
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																					
所属	部課名	市民生活部市民環境課		【開始年度】																					
	課長名	鈴木 康代		平成23 年度～																					
	係名	環境衛生係	電話	0192-27-3111																					
	担当者	米田 大祐	内線	124																					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																					
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市、釜石市、陸前高田市、住田町及び大槌町を構成団体とし、一般廃棄物の処理計画の策定及び処理施設の設置、管理、運営等を行うために設置した「岩手沿岸南部広域環境組合」に負担金を支出する。 具体的な業務は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ①負担金の支出、②組合議会・管理者会議等開催時の連絡調整、③組合関連議案作成、④幹事会等への出席 事業費は、負担金として支出される。 				<table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>		国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
国庫支出金																									
都道府県支出金																									
地方債																									
その他																									
一般財源																									
事業費計(A)	0																								
正規職員従事人数																									
延べ業務時間																									
人件費計(B)	0																								
トータルコスト(A)+(B)	0																								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
<p>前年度実績(前年度に行った主な活動)</p> <p>総務費及び衛生費負担金(均等割10%、利用割90%)を支出した。利用割はごみ搬入量の実績を基準に算定</p> <p>今年度計画(今年度に計画している主な活動)</p> <p>前年度と同様</p>	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 廃棄物を沿岸南部広域環境組合に搬出した回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 廃棄物処理施設の建設施設数</td><td>施設</td></tr> <tr><td>ウ 廃棄物処理施設の稼働日数</td><td>日</td></tr> </table>	名称	単位	ア 廃棄物を沿岸南部広域環境組合に搬出した回数	回	イ 廃棄物処理施設の建設施設数	施設	ウ 廃棄物処理施設の稼働日数	日
名称	単位								
ア 廃棄物を沿岸南部広域環境組合に搬出した回数	回								
イ 廃棄物処理施設の建設施設数	施設								
ウ 廃棄物処理施設の稼働日数	日								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
岩手沿岸南部広域環境組合	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 岩手沿岸南部広域環境組合決算額</td><td>千円</td></tr> <tr><td>キ 岩手沿岸南部広域環境組合構成市町数</td><td>市町</td></tr> <tr><td>ク 廃棄物処理施設処理能力</td><td>トン/日</td></tr> </table>	名称	単位	カ 岩手沿岸南部広域環境組合決算額	千円	キ 岩手沿岸南部広域環境組合構成市町数	市町	ク 廃棄物処理施設処理能力	トン/日
名称	単位								
カ 岩手沿岸南部広域環境組合決算額	千円								
キ 岩手沿岸南部広域環境組合構成市町数	市町								
ク 廃棄物処理施設処理能力	トン/日								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
一般廃棄物の適正な運搬、処分を行う岩手沿岸南部広域環境組合が、健全に運営される。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 大船渡市が排出する一般廃棄物(可燃)の処理量</td><td>トン/日</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 大船渡市が排出する一般廃棄物(可燃)の処理量	トン/日	シ		ス	
名称	単位								
サ 大船渡市が排出する一般廃棄物(可燃)の処理量	トン/日								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
発生したごみを適正に処理する。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	465,868	401,447	434,320	425,170	385,158	385,158	
	事業費計(A)	千円	465,868	401,447	434,320	425,170	385,158	385,158		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	140	140	140	140	140	140	
		人件費計(B)	千円	560	560	560	560	560	560	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	466,428	402,007	434,880	425,730	385,718	385,718	
⑤活動指標		ア	回	1,169	1,154	1,131	1,110	1,100	1,090	
	イ	施設	1	1	1	1	1	1		
	ウ	日	343	343	343	343	343	343		
⑥対象指標	カ	千円	1,674,583	1,447,755	-	1,400,000	1,400,000	1,400,000		
	キ	市町	5	5	5	5	5	5		
	ク	トン/日	147	147	147	147	147	147		
⑦成果指標	サ	トン/日	21	20	20	20	19	19		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0085	事務事業名	岩手沿岸南部広域環境組合事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	ごみ排出量の増加やダイオキシン類が社会問題となりはじめたことから、岩手県ではこれに対応するため、平成11年3月に「岩手県ごみ処理広域化計画」を策定した。これに基づき、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町では、平成18年4月に「岩手沿岸南部広域環境組合」を設立し、平成23年からのごみ処理施設の稼働に向け施設建設に着手した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	◆平成16年3月に岩手県沿岸南部地区広域ごみ処理基本計画を、平成18年2月、交付金制度新設に伴い、沿岸南部地域循環型社会形成推進地域計画を策定した。平成18年4月に岩手沿岸南部広域環境組合を設立した。 ◆平成20年8月、新日鉄エンジニアリング㈱等と建設請負、運営委託に係る契約を締結し、平成21年6月に本体土工事、プラント工事が着工。平成22年12月に火入式が行われて試運転工程に移行したが、平成23年3月11日の東日本大震災に伴う停電で運転が停止し、浸水被害等の復旧工事が進められた。被災・損傷の程度は軽微であったが、電気と水道の復旧に時間がかかり、4月13日から受け入れを再開した。また、震災に伴う災害廃棄物も受け入れて処理した。 ◆東京電力福島第一原子力発電所事故以降、飛灰、溶融スラグ、排ガスの放射能濃度を測定し、組合ホームページで公表している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	広域で一般廃棄物を共同処理する施設の完成と円滑な管理・運営が望まれている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	一般廃棄物の処理は、広域で行うことにより適正かつ効率的に処理でき、政策体系に結び付く。	
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容
なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	一般廃棄物の処理は、市町村(一部事務組合)が行わなければならない。		
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	大船渡市内の一般廃棄物は、沿岸南部広域環境組合で処理しており、対象が限定される。組合が健全に運営されることで、適正な処理がされることから、意図は妥当である。	
	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容
成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	大船渡市内の一般廃棄物の処理量は、年度によって一定ではないことから、成果の向上余地がない。		
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	事業の廃止は、岩手沿岸南部広域環境組合から当市が脱退することを意味し、沿岸南部全体の一般廃棄物の処理に重大な支障をきたす。	
	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容
成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	構成市町村の事業実績(一般廃棄物処理量)で支出額が増減するので、削減の余地はない。		
公平性 評価	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	業務時間の大半は組合への負担金支出事務であり、これ以上の削減は不可能である。	
	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	大船渡市全体の一般廃棄物の処理に係ることであり、全市民が受益者となる。		

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	広域環境組合への負担金の支払いは、一般廃棄物処理施設の適切な管理及び構成市町のごみの適正処理に結び付くことから、現状維持が望ましい。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	適正なごみ処理のため、継続して事業を実施する。 なお、運営費用が適切となるよう、機会を得て運営内容等を確認する。